

## 特別支援学校統合計画を見直し、教育の充実を求める請願書

(請願者) 子どもたちの豊かな教育を守る会

### (請願趣旨)

2022年2月、突然、「2023年度から豊岡聴覚特別支援学校と出石特別支援学校を統合する」という計画が県から知らされました。豊岡聴覚特別支援学校を閉鎖して、現在の出石特別支援学校の校舎を利用して、知的障害部門と聴覚障害部門を設けて新しい校名でスタートさせるという内容でした。小中学校の統合では複数年にわたって地元で話し合いが重ねられるのに、県が公表するまで保護者や教員にも全く知らされず、しかも1年という常識ではありえない短い準備期間が告げられました。

この統合計画により、これまで但馬・丹波地域の聴覚障害児の発達保障と自立支援に尽力してきた豊岡聴覚特別支援学校が失われることとなります。現在、豊岡聴覚特別支援学校は、但馬・丹波の広域の聴覚障害児の支援にあたっていますが、計画には通学区域の指定と寄宿舎の廃止が明記されており、入学が制限されてしまいます。また高等部が計画されていないことで、中学部卒業後に部門の変更や他地域の聴覚特別支援学校への転校・進学を余儀なくされます。聴覚障害の支援に必要な施設設備の整備は必要ですが、そのことによって出石特別支援学校で学ぶ知的障害の子どもたちの教育権が狭められてはなりません。現在、出石特別支援学校には学校として自由に使えるグラウンド、プールがありませんが、それも当然整備されるべきです。このように両校で話し合わなければならない課題は山積みなのに「1年で準備」と言われる、全く理不尽な計画の押し付けです。但馬・丹波地域の聴覚障害児は少数ですが、なぜ人数が少ないからと言って強引に統合させなければならないのか、全く納得できません。

2014年に日本も批准した障害者権利条約は、「Nothing about us without us (私たちのことを私たち抜きで決めないで)」を合言葉に、障害当事者の参画で作られました。私たちは、障害のある子どもや保護者、教職員の意見や地域の状況が十分反映され、すべての障害のある子どもたちが、どこで生まれても、安心して、生き生きと学べる場を等しく保障されるよう、統合計画の見直しを強く求めます。

### 【請願事項】

- 1 統合計画を見直して、地域・保護者・教職員の意見を取り入れた豊かな教育条件を整えてください。
- 2 但馬と丹波地域の聴覚障害の子どもが、早期から青年期まで一貫して専門性の高い教育が受けられるようにしてください。

お名前	ご住所

豊岡聴覚  
特別支援  
学校

出石特別  
支援学校

# 「統合」見直してください 但馬と丹波の聴覚障害児に豊かな教育を！



## この署名について

- ・友人、知人、親戚の方などにも協力をお願いしてください。
- ・国籍、年齢に制限はありません。趣旨に賛同できる方なら、どなたでも結構です。
- ・県外の方でもかまいません。
- ・署名欄が5名に満たなくてもかまいません。
- ・6月の県会提出に間に合うようにお願いします。
- ・その他、わからないことがありましたら、事務局にお問い合わせください。

\*この署名は目的以外には使用しません。

\*よろしければカンパにもご協力をお願いします。

■子どもたちの豊かな教育を守る会

代表 山口竜徳 西本浩樹

\*お問い合わせは下記の電話かメールをお願いします。

「守る会事務局」090-7345-4998 mail:yokosan0124@yahoo.co.jp